

松江土建 株式会社

創 業 昭和19 (1944) 年5月9日
 代表者 代表取締役社長 平塚 智朗
 社員数 196名 (男169名 女27名)
 本 社 島根県松江市学園南2-3-5

事業内容

総合建設業

勤務地(採用エリア)

島根県全域、鳥取県西部地域

採用区分

新卒採用 キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 インターンシップ等の情報は、松江土建公式サイト内のリクルートページより。

採用担当者からあなたへ

松江土建は、土木・建築工事などを通じ、経営理念に掲げる「そこに暮らす人々の幸福を追求する」企業活動を行っています。常に「感謝・敬意・称賛」の心を持ち、実践できるコミュニケーション力(=人間力)の高い仲間を求めています。

地域に貢献するため、一緒に働きませんか！

常務取締役
矢田 肇さん

採用に関するお問い合わせ先

0852-21-3004

公式サイトは
こちら



求人サイトは
こちら



松江土建で活躍するスタッフ

リスクアセスメント危険予防を担当 現場ではコミュニケーションを大切に

さまざまな問題を抱えた家が、一流建築士のリフォームで生まれ変わる様子を紹介するテレビ番組を見たのが、建築業界に興味を抱いたきっかけだった。「建築を通して、人に喜んでもらえるような仕事をしたいと思うようになりました」

現在は、松江市役所新庁舎2期工事でRKY (リスクアセスメント危険予防)などを担当。作業ごとにランク付けされた危険の程度に対し、作業員全員が具体的な予防対策を認識できる安全項目のチェックを行う。多い日には作業員が約60人にも及び、丁寧な気配りが求められる。周辺への工事の影響を確認する定期的な測量や、進捗状況の記録撮影も担っている。

工事には多くの協力会社に関わっており、現場が変わって馴染みの顔と再会することも。「どの現場でも学ぶことが多く、コミュニケーションの大切さを実感しています」。趣味はカフェめぐり。「美味しい店があれば、県境だってまたいじやいます」と茶目っ気のある笑顔を見せる。



建築部工事課
曾田 みづきさん(24)
2022年入社



国が発注した大型工事の一端担う ICTシステム活用し、効率的業務を

松江市にある中海大橋の補修・耐震工事に携わっている。「入社後初めての工事内容で、日々勉強しながら現場管理を進めています」と汗をかく。JV受注の工事では特に、業者間の綿密な打ち合わせが円滑な進行に欠かせないが、天候などの影響で工程通りに進まないことも。「うまくいかないことも多くて四苦八苦しています」と苦笑する。

現場の施工管理や発注者の立会い検査のための資料作成などを担当。毎日のように猛暑日が続く中、現場の作業員の安全確保も重要な任務の一つだ。冷風機やスポットクーラーを設置したテントを張って随時休憩を促したり、飲み物を配ったりして熱中症対策に注力する。

「現場の作業は大変ですが、この仕事の醍醐味はゼロから物を創り上げていくということ。年々やりがいが増えています」。ICT測量システムなども使いこなして効率的に業務を進めており、今年は2級土木施工管理技士の試験に挑む予定。休日は趣味の海釣りを楽しみつつ、勉強に費やす時間も増えそうだ。



土木部工事課
安倍 凌介さん(23)
2022年入社



1 スタイリッシュなフォルムの本社社屋 2 秀でた技術力やデザイン力を実感できる開放的なエントランスホール 3 令和6年に創立80周年を迎えた松江土建。6月には、くにびきメッセをメイン会場に大感謝祭を開催し、多くの人でにぎわった 4 非同族企業の松江土建。9代目平塚社長は同社の営業出身だ

62

LEADING COMPANY

松江土建 株式会社

● 総合建設業

街、暮らし、未来を創る 地域密着の総合建設業

地域に密着した総合建設業を展開してきた《松江土建株式会社》。高い技術力と培ってきた経験で数々の大プロジェクトを実現し、現在は他2社と共同で松江市役所庁舎の建設主体工事も担っている。

難工事に果敢にチャレンジ 福利厚生も業界トップ級

市民生活の基盤を支える土木工事と付加価値の高い建築物工事を通して、地域の豊かな暮らしを実現してきた《松江土建株式会社》。近年は生成AI等を駆使し、徹底した効率化を図るべくDXプロジェクトを立ち上げるなど、類まれな技術力と経験を強みにDXにも果敢に挑戦している。

現在建て替えを進める松江市役所庁舎の建設主体工事も、他2社と共同で実施。地上6階地下1階建て、延べ床面積約2万5000㎡におよぶ大規模工事で、工期は約5年にも及び。「半分ずつ壊して建てて引越す」という大変な作業な上、免震工事も施す必要があり、過去経験したことのないようなチャレンジと息を吐く平塚智朗社長(66)。「ただ当社には、かつて大手ゼネコンが独占していたような難工事も担える実力があると自負しています。その横顔には、地元業界のリーディングカンパニーとしての誇りがにじみ出ていた。

働きやすい環境づくりにも注力している。22年には評価の透明性を高めた人事制度を取り入れ、社員のモチベーションアップを促進。給与制度も見直して平均5%の昇給を実現した。また、23年4月には県内業界でもいち早く完全週休2日制を導入。男性の育児休業取得を奨励しつつ、出産祝い金も1人目20万円、4人目50万円と破格の金額に設定した。資材高騰や職人の減少など業界を取り巻く状況が厳しい中、平塚社長は「一体となって取り組まなければ建設業全体がダメになる」と業界全体が一体となって環境改善を進める重要性を訴えている。